

2022年7月25日
日本共産党岩手県委員会
県委員長 菅原 則勝
県議団 斉藤 信
高田 一郎
千田美津子

新型コロナ感染の第7波の急拡大から県民の命とくらしを守るための緊急申し入れ

知事を先頭に県職員の皆さんが、新型コロナ感染対策に献身的に取り組まれていることに心から敬意を表します。

7月に入って、新型コロナの新たな変異株であるオミクロン株 BA.5 の急拡大等により、7月12日は過去最多となる597人の新規感染者が確認されるとともに、20日には975人、21日は976人、22日には1051人と連日過去最多を大幅に更新する感染爆発というべき深刻な事態となっています。23日現在、人口10万人当たりの直近1週間の新規感染者数は426.7人、盛岡市は561.3人と過去最多となっています。新型コロナによる死者数は累計で104人となり、オミクロン株による第6波以降で51人と増加しています。全国的にも7月22日には20万975人の新規感染者となり、4日連続で過去最多を更新しています。第6波のピーク（10万4千人）のほぼ倍増となり、医療現場は逼迫しつつあります。重大なことは第7波の感染急拡大が始まったばかりだということです。

県内では、第7波の感染急拡大で、24日現在、入院患者129人、宿泊療養者111人、自宅療養者6191人と急増しています。7月以降21日までのクラスターの発生は69件、うち学校が29件、教育保育施設13件、高齢者施設13件となっています。10代、10歳未満で感染者が急増し、家族感染によって30代、40代での感染も増加しているのが特徴です。新規感染者の76.3%を40代以下が占める一方でワクチン接種率が5～6割台にとどまっていることは課題です。高齢者施設のクラスターと60代以上の感染者が増加（1週間で651人）していることも軽視できません。

第7波の新型コロナ感染の急拡大から県民の命とくらしを守るために、これまでの対策の延長線上ではなく新規感染者を抑制する感染防止対策の徹底を図ることが必要です。感染が急拡大している10歳未満から40代でのワクチン接種を適切に促進すること。保育園、学校、高齢者施設等での頻回のPCR検査の実施と抗原検査キットの無料配布による検査の徹底、一般検査事業による無料検査の徹底と継続、人員体制の強化を含めた医療体制の拡充、感染レベルが最も高まっている中で、各地での夏祭りなどの大規模イベントでの感染防止対策の徹底とイベントの見直しの検討など人流の抑制も必要です。

こうした立場から、人の移動が活発になる夏祭りやお盆を前に、以下の課題で緊急に新型コロナ対策の抜本的強化を図るよう申し入れます。

記

1、県をはじめ行政と県民が新型コロナ・オミクロン株 BA.5 による感染急拡大への危機感を共有し、一体となって感染抑止の取り組みを強化すること

- 1) 知事を先頭に、緊張感をもってオミクロン株 BA.5 の特性と感染急拡大の状況、具体的な感染防止対策について、若い世代を含む県民に届くように、強く丁寧にアピールすること。

- 2) 県民、事業者、学校等で、オミクロン株 BA.5 による感染急拡大への危機感を共有し、不織布マスクの正しい着用、手指衛生、換気、3密の回避、必要な検査の徹底などの基本的感染対策の徹底を図ること。
- 3) 人の移動が増加する夏祭りなどの大規模イベントやお盆を前にして、必要な感染対策の徹底を図ること。

2、感染拡大抑止のカギを握る 3・4 回目のワクチン接種の早期・確実な促進を図ること

- 1) 遅れている 12 歳から 40 代のワクチン接種の促進を図ること。5 歳から 10 歳未満についてもワクチン接種の有効性・安全性について科学的で具体的な情報提供を強化すること。
- 2) ワクチン接種が進んでいる一関市などの取り組みに学び、夜間・金曜日の集団接種や対象者への丁寧な対応など、全県的に具体的な推進策を講じること。
- 3) 高齢者や基礎疾患のある人、医療従事者、高齢者施設従事者等の 4 回目のワクチン接種に積極的に取り組むこと。高齢者施設の場合は入所者と従事者がセットでワクチン接種できるように勧めること。教育保育施設従事者など対象者の拡大を国に求めること。
- 4) 県として、職域接種、大学等での接種、医療従事者や介護従事者への 4 回目の接種に積極的に取り組むこと。

3、PCR 等検査体制の抜本的強化について

- 1) 感染の急拡大を踏まえ、高齢者施設、教育・保育施設、医療施設、学校等での定期的・頻回の検査を早急に実施すること。
- 2) 患者が集中している発熱外来（診療・検査医療機関）への支援を強化し、必要な診療と検査が実施できるようにすること。引き下げられた診療報酬の引き上げを国に求めること。
- 3) 高齢者施設、学校、教育保育施設等に抗原検査キットを無料配布し、積極的な活用を図ること。
- 4) 感染が急拡大している中で、不安を感じている県民対象の無料の PCR 等検査を、8 月以降も継続実施すること。

4、感染の急拡大に対応できる保健所体制の抜本的強化を図り、医療体制の強化を図ること

- 1) 過去最多を記録する感染急拡大の状況に対応し、保健所体制の強化と緊急の全庁的な応援体制を構築して取り組むこと。
- 2) 感染の急拡大に対応できる病床の確保に取り組むこと。基礎疾患のある高齢者等、重症化リスクのある高齢者等については、原則入院として、基礎疾患の治療も行えるようにすること。感染者が発生した高齢者施設への迅速な医療支援と感染防止の体制を構築すること。
- 3) 急増している自宅療養者に対して、マイハーシスの活用を含め健康観察を徹底すること。必要な医療支援、食料支援を確実に行うこと。
- 4) 家族に高齢者がいる場合、家庭内感染のリスクがある場合は宿泊療養を基本として取り組むこと。介護が必要な高齢者用の宿泊療養施設を整備すること。
- 5) 入院患者等の後遺症の実態を把握するとともに、後遺症への相談・診療体制の強化を図ること。副反応に対する医療と相談の体制を確立すること。

5、夏祭り等大規模イベントの感染防止対策の徹底を図るとともに、必要な場合、見直し・中止などの対策も検討すること

- 1) 過去最多の感染急拡大の状況を踏まえ、夏祭り等の大規模イベントについては感染防止の対策を徹底するとともに、十分な対策を講じられない場合は見直し・中止の検討を求めること。
- 2) 学校等における各種大会や部活動、学童クラブについて、感染防止対策の徹底を図ること。

以上